

## Zone C コミュニティ

### 持続可能なコミュニティをコーディネートする

～世代や立場を超えたつながりの広がり、どのように実現してきたのか～

Zone C ではこれまで、「持続可能なコミュニティをコーディネートする」というテーマのもと、地域の学習活動や地域課題の解決をめざす様々な活動の事例をわかちあい、対話を通じた探究を積み重ねてきました。その中で発見されてきたのは、「若者や外部の視点を取り入れて、地域を活性化させていこうとする動き」、あるいは、「公民館主事の方、地域の活性化に取り組んでいる方、地域と協働しながら教育活動を展開する教育関係者の方などが幅広く集い、共に話しあう姿」でした。

前回は、中学生へのキャリア教育の出前授業を通して、地域の担い手づくりをめざしている団体の活動や、地域の伝統と文化の継承と活性化についての事例報告を受け、地域への誇りや愛着を支え育むものが何なのかを探りました。

今回、Zone C では、小学校での探究学習が地域社会に継続的に力（元気）をもたらしてきた事例を紹介していただきます。事例の中では、小学生が地域課題を解決する総合的な学習の試みを発端として、その学びが中学校、高校へとつながっていく様子が語られます。さらには、子どもたちの思いを支援し共に歩もうとするつながりの輪が地域や行政へと広がり、地域社会にとっての大きな力となっていきます。このような「世代や立場を超えたつながりの広がり」は、どのように実現してきたのか、その継続的で発展的な過程にご注目いただければと思います。

事例に耳を傾けた後は、感じたことや、想起したことなどをわかちあう対話の時間です。私たちが、コミュニティの中でいかに学びあい成長するのか、あるいは、地域の一員としての自己有用感や誇りや愛着はいかに育まれるのか、その結果として持続可能なコミュニティはどのように実現していくのかなど、対話を楽しみつつ探っていきましょう。

14:30～14:40 趣旨説明 永谷彰啓

14:40～15:10 実践報告「ふるさと美浜元気プロジェクト」

平城 慶彦氏（美浜町立美浜中央小学校教諭）

コーディネーター：永谷彰啓

15:10～15:40 中学校・高等学校・行政・生徒の話 司会との話し合いの中で

行壽 浩司氏（美浜町立美浜中学校教諭）

吉岡 弘和氏（福井県立美方高等学校教諭）

山本 知也氏（美浜町まちづくり推進課）

生徒代表

全体ファシリテーター：富永良史

15:45～16:00 休憩（チャットタイム）

16:00～16:50 小グループでの話し合い

16:50～17:00 休憩（チャットタイム）

17:00～17:40 全体共有と全体セッション～ふり返りと展望～